

主な議案より



日野市立病院も危機！

市立病院の運営資金がショートしかねないと、市から**8億円を長期借り入れ**、同時に**経営再建支援**の業務委託料の補正予算がありました。全国的に病院経営の赤字が問題にある中、国や都に早急な対応が求められます。(賛成)



市立病院で無痛分娩

費用は東京都の助成額と同額の**10万円**です。選択肢が広がることはよいですが、**公費助成イコール推奨ではありません**。医療行為を伴う麻酔分娩であり、そのリスクを事前に説明することを求めました。(賛成)



こども誰でも通園制度

「孤育て」解消に向け国が進める制度で、対応する条例ができました。保育現場からは、短時間の受け入れへの懸念、**人員配置**や業務増など不安の声もあり、多くの課題があります。**保育の質**にも影響がでめよう、今後も注意深く見守ります。(賛成)

2024年度決算では黒字だが財政再建は？



市長は昨年度の決算状況を根拠に、2020年に発した「**財政非常事態宣言**」の解除を記者会見で突如発表。議

会はビックリ。この進め方に異議を唱え、今後の見通しと合わせ市民への説明を求めました。

歳入では、SDGsに貢献する債券の積極購入や、ふるさと納税活用の際には日野市「も」応援してほしいと呼びかけることを求めました。

歳出では、振込手数料の値上げを受け、手数料0円の同銀行口座指定の協力を呼びかけるよう提案しました。**市民が税の使い道を選択できる情報**を届けることは大切です。また昨年の落枝事故を受け、市全体のみどりの管理のあり方を再検討するために、専門知識を有する専門家の登用を求めました。

本決算審議より全議員で臨んでいます。真の財政再建が果たせるよう、議会も改革を進めながら取り組んでいきます。(認定)

スマホ購入&省エネ家電の買い替え補助



65歳以上で初スマホ購入に上限3万円、また省エネ家電の買い替えに上限2万円の補助が再びです。今回は**25トンのCO2削減**につながったそうですよ。この機会にぜひ。詳細は広報ひの等をご覧ください。



▲新旧家電の比較はこちらから

もしも日野市がガザになったら？



市民による請願が採択され、「**ガザ地区における即時停戦および民間人保護を求める決議**」が市議会の意志として可決されました。

また、市内で開催された高橋真樹さんのお話に参加。著書「**もしも君の町がガザだったら**」は10代から読めるわかりやすさでオススメ。自分ごととして考えていこう！